

「インクルーシブボランティア」に関する研究論文(2018年度～)

※研究会や企画チームなどでの実践を踏まえた研究論文を紹介

年	タイトル
2018年	岩本裕子・南多恵子他(2018)「インクルーシブなボランティア活動の広がりを目指した事例研究法に関する一考察」『日本福祉教育・ボランティア学習学会研究紀要』第30巻、pp 5-18、査読有
2021年	南多恵子、岩本裕子(2021)「人との関係構築が困難なボランティア活動希望者が抱える課題－「インクルーシブなボランティア活動の広がりを目指した事例研究法」によるニーズの検討－『日本福祉教育・ボランティア学習学会研究紀要』第36巻、pp34-46、査読有
2022年	岩本裕子(2022)「人との関係構築が困難なボランティア活動希望者の活動参加促進要因の検討：インクルーシブなボランティア活動の広がりを目指したボランティアコーディネーション」『日本の地域福祉』第35巻、pp39-53、査読有
2024年	岩本裕子(2024)「「多様性に生きる」ことを実現する－インクルーシブボランティア研究会の取り組みから－」『ふくしと教育』通巻40号、pp18-21、査読無

「インクルーシブボランティア」に関する研究助成(2024年度～)

年	助成元・研究テーマ
2025年～ 2027年度	・科学研究費補助金・基盤研究(C)「「活動を紹介しにくい」人々へのインクルーシブなボランティア・コーディネートの研究」2025-2027年